

移動図書館の歴史

昭和 41 (1966) 年 10 月、いわき市が発足し、当時としては日本一の面積を有する市が誕生しました。そのため、図書館サービスも広大な市域をカバーする必要が生じ、登場したのが移動図書館です。

現在、いわき市立図書館には、市北部を巡回する「いわき号」と、市南部を巡回する「しおかぜ」の 2 台の移動図書館が運行しています。ステーション数は 119 ヶ所あり (平成 29 年 4 月現在)、月 1 回巡回し、図書館が遠方で足を運ぶことが難しい利用者に本を届けています。

「あづま号」から「いわき号」へ

いわき市に初めて登場した移動図書館は、昭和 43 (1968) 年 6 月に福島県立図書館から払い下げとなった「あづま号」(日産 E690 改造 60 年式 積載図書冊数 3,000 冊) でした。当時市内にあった図書館は、平、内郷、常磐、磐城の 4 図書館で、あづま号は、これらの図書館から持ち寄った本 3,200 冊を、公民館を中心に巡回、貸出を行いました。

しかし、県からの払い下げ時には走行距離が既に 8 万キロを超えていたため、昭和 47 (1972) 年 8 月に初代「いわき号」(日産 キャブオール VC240 改造 積載図書冊数 600 冊) を購入し、平図書館に配車しました。当時の大和田弥一市長が「いわき号」と命名した移動図書館は、ブルーとクリーム色のツートンカラーで、山間部の狭い道でも走行できるよう、小回りの利くマイクロバスを図書館用に改造したものでした。

移動図書館の貸出は、当初、団体貸出のみでしたが、同年 9 月、玉川団地をモデル地区として個人貸出をスタートします。これが好評だったことから、翌年の昭和 48 (1973) 年 7 月には 11 ヶ所に増やし、主婦を中心に多く利用されました。



初代いわき号【運行期間 昭和 47 年～昭和 53 年】
(昭和 50 年 5 月 いわき市撮影)



2代目いわき号 寄贈式【運行期間 昭和 53 年～昭和 63 年】
(昭和 53 年 10 月 いわき市撮影)



4代目いわき号【運行期間 平成 9 年～平成 25 年】
(平成 10 年 1 月 いわき市撮影)



5代目いわき号【運行期間 平成 25 年～現在】
(平成 25 年 12 月 いわき総合図書館撮影)

昭和 53 (1978) 年 10 月、2 代目「いわき号」(トヨタ コースター改造 積載図書冊数 2,400 冊)を、日本中央競馬会競走馬総合研究所の一部寄付を受け購入しました。この時、初代「いわき号」は、須賀川市へ譲渡されました。

昭和 63 (1988) 年 11 月には、3 代目「いわき号」(車種不明 積載図書冊数 2,700 冊)を購入。

平成 9 (1997) 年 12 月には、4 代目「いわき号」(三菱 キャンター 3.5 tトラック改造 積載図書冊数 3,000 冊)を購入します。車体は黄、青、緑の鮮やかな配色で、市の鳥かもめのイメージキャラクター「ミュウ」や塩屋埼灯台が描かれていました。

平成 25 (2013) 年 11 月には、5 代目「いわき号」(三菱ふそう キャンター 4 tトラック改造 積載図書冊数 3,000 冊)を購入。グリーンとクリーム色の車体には、いわき市立図書館キャラクター「かもまる」が描かれ、子どもたちに親しまれています。

「しおかぜ」の配車

昭和 47 年 8 月の初代「いわき号」の導入以降、ステーションの増加や積極的な広報活動もあり、利用者は順調に増加しました。昭和 54 (1979) 年 12 月のいわき市社会教育委員の会議では、市の広域性を考慮し移動図書館車の増車が望ましいとされ、昭和 56 (1981) 年 10 月、市の南部を巡回する初代「しおかぜ」(日産 シビリアン GC341 改造 積載図書冊数不明)が、勿来図書館に配車されました。

平成 4 (1992) 年 9 月には、2 代目「しおかぜ」(日産 シビリアン TD42 改造 積載図書冊数不明)を購入。

平成 22 (2010) 年 10 月、3 代目「しおかぜ」(三菱ふそう キャンター 4 tトラック改造 積載図書冊数 3,000 冊)を購入。海をイメージした水色の車体に、市の鳥かもめのイメージキャラクター「ミュウ」が描かれています。



初代しおかぜ【運行期間 昭和 56 年～平成 4 年】
(昭和 56 年 9 月 いわき市撮影)



2 代目しおかぜ【運行期間 平成 4 年～平成 22 年】
(平成 22 年 9 月 いわき総合図書館撮影)



3 代目しおかぜ【運行期間 平成 22 年～現在】
(平成 22 年 10 月 いわき総合図書館撮影)